

**ジョリパット不燃**  
**JQ-200シリーズ**  
**ウォーターフォール仕上げ**  
**施工の手引き**

平成19年5月25日【初版】

**アイカ工業株式会社**  
**第二R&Dセンター**  
**建設樹脂開発グループ**

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジヨリパットシーラー JS-500	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	約51.4㎡/缶
主 材	ジヨリパット不燃 JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200、JQ- ( ...数字 ) 特注色 JQ 200 ( ...英字、 ...数字 )	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg <sup>ℓ</sup> -缶	<b>A色 (淡色)</b> 約1.2㎡/缶 <b>B色 (濃色)</b> 約2.6㎡/缶

**A色 (薄い色)** は、下塗り、上塗りに使用。

< 主な施工道具 >

- ・ステンレスゴテ (剣先ゴテ)

< 下地調整 >

標準下地は、石膏ボード (プラスターボード) 又はモルタルとする。

## <ウォーターフォール仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	18kg
塗 布 量	0.07kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下塗り(A色)

・ジョリパット不燃A色を無希釈で0.8kg/m<sup>2</sup>となるようステンレスゴテで平滑に塗布する。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

### 3. 主材 配り塗り

(A、B色)

配 合	JQ-200シーズ	20kg
塗 布 量	約1.5kg/m <sup>2</sup> (A色、B色約0.75kg/m <sup>2</sup> ずつ)	
施工道具	ステンレスゴテ A色、B色を等量ずつ定板の上へのせ、 2色を同量ずつコテでとり、混ざらない よう配り塗りする。(図-1)	

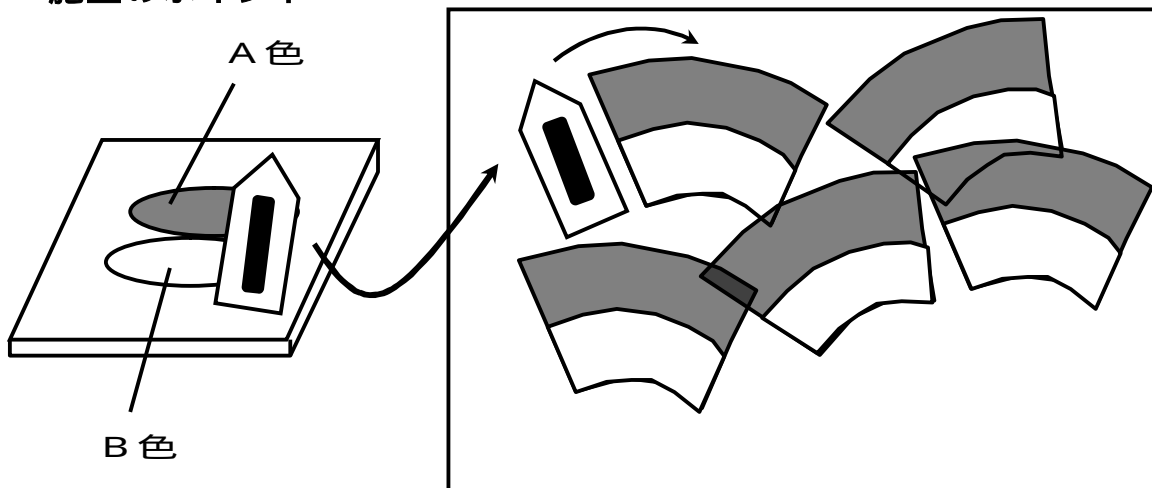
追かけ塗り(5分以内)

### 4. パターン付け

・ステンレスゴテのエッジ部分に力を入れ、下から上へコテを動かし、パターン付けする。(図-2)  
・パターン付けは、ランダムに行う。(図-3)

24時間以上放置して乾燥させる。

< 施工のポイント >



A色・B色が混ざらないよう扇状に配り塗りする。

図 - 1

- ・ コテのエッジ部分に力を入れ、ジョリパット不燃を下から上へ塗り延ばすような感覚で動かし、最後は手前にコテを跳ね上げるようにしてパターンを付ける。  
( 図 2 )



図 - 2

- ・パターンが横方向にそろわないようにパターンを付ける。
- ・隣り合う模様隙間に隙間をあける。

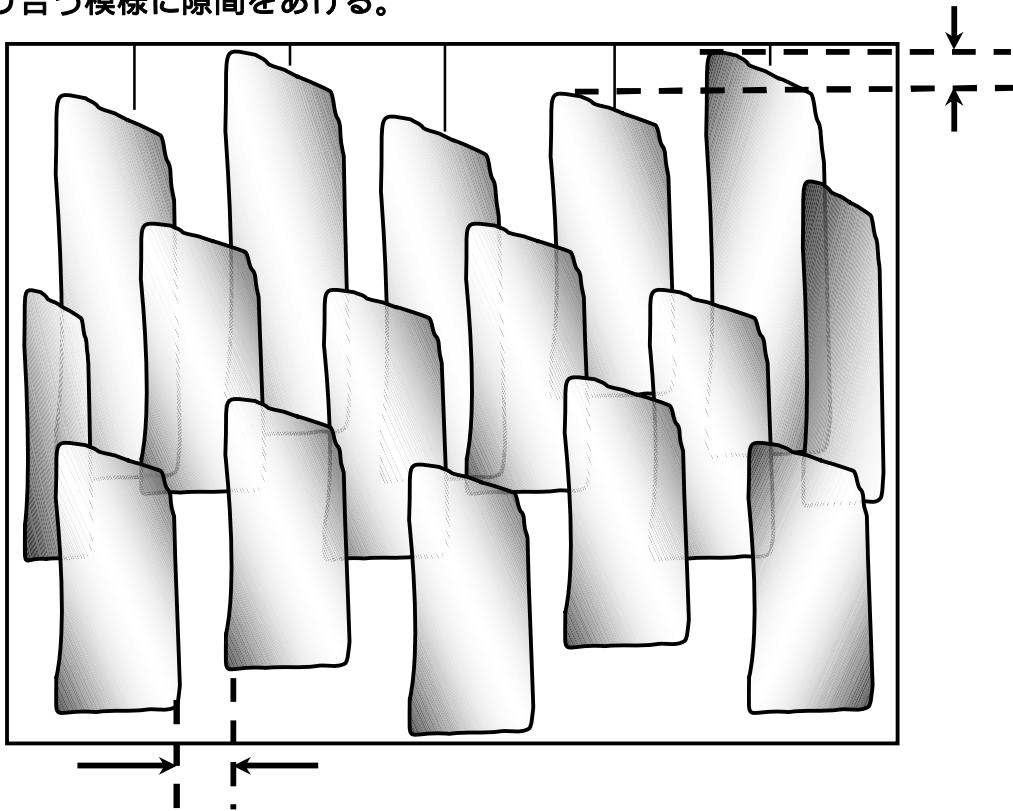
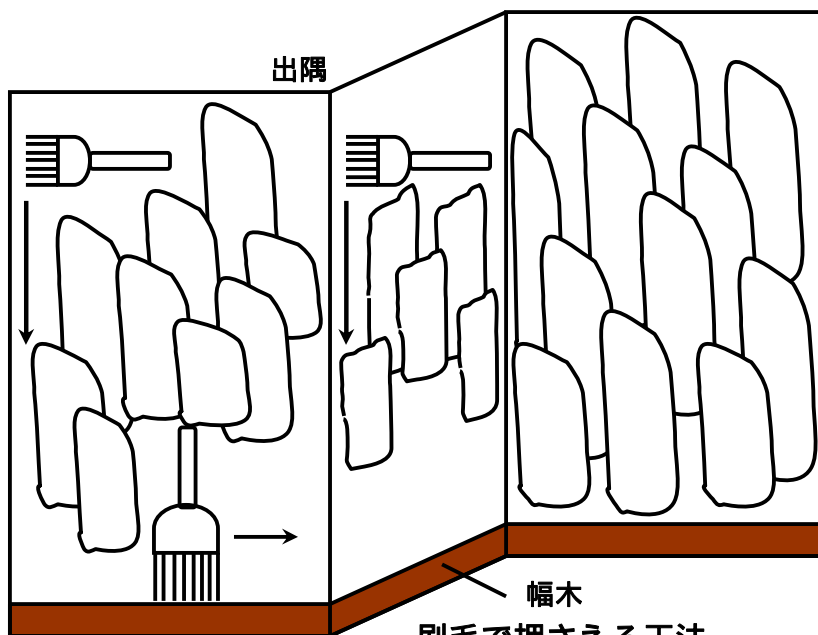


図 - 3

### 入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入り隅や出隅、幅木のちりは、ジョリパット不燃が乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえる。（図 4）

入り隅



刷毛で押さえる工法

図 4

- ・ 何度もパターン付けをやり直すと、2色のジョリパット不燃が混じり合い、色がぼけます。
- ・ コテの大きさや形状によりパターンは多少異なります。
- ・ 何度もパターンの手直しをすると、ジョリパット不燃が乾燥して皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。

#### < 施工の注意事項 >

- ・ 施工場所の気温が5 以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 材料の練混ぜはハンドミキサーなど機械練りとし、均一になるまで十分に練り合わせて下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ **このパターンは作業者により仕上がりにバラツキの出やすいパターンです。塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めて下さい。**

以 上